


農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	農学生命課程・教授・黒田 榮喜	
紹介する研究シーズ名	飼料イネ水稻品種の収量性および乾物生産特性	
キーワード	飼料イネ、稲発酵粗飼料（WCS）、多収性	

シーズの「売り」は！！

飼料米，稲発酵粗飼料用イネの栽培は，水田の有効活用に貢献するとともに，耕畜連携による飼料自給率の向上につながります。

- ① 飯米用品種に比べて品質は劣るものの，寒冷地でも栽培可能な粗玄米収量，地上部乾物収量が明らかに多収を示す飼料用の水稻品種が育成されています。
- ② 飼料用米や稲発酵粗飼料（WCS）の嗜好性は高く，畜産物の高付加価値化（肉色の褐色化抑制や冷蔵保存中の酸化の抑制，うま味成分の増加など）に繋がる報告が蓄積されつつあります。
- ③ 寒冷地でも超多収性を発揮する飼料イネが育成され，飼料米やWCSの利用が拡大することにより，畜産物のブランド化に繋がることが期待されます。



写真 飼料イネ品種クサユタカと
長稈性の乾物多収飼料イネ系統

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

飼料イネ専用品種の育成，栽培品種の選択

関連特許・関連資料等